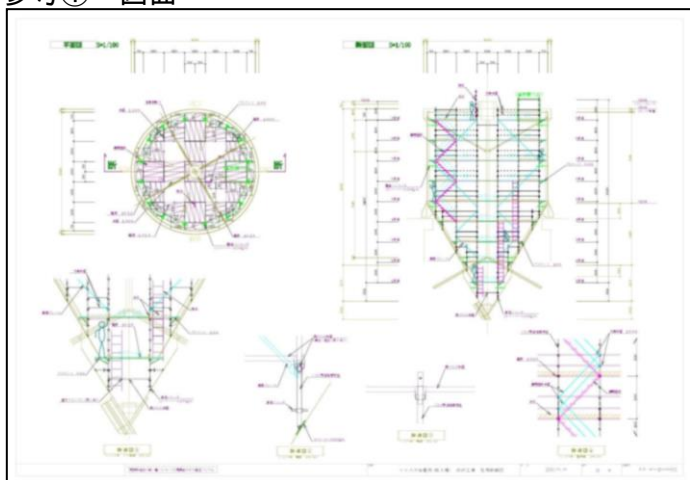


強度計算をするメリットについて

参考①…図面



仮設工業会からの参考資料

高さ45mについて

「くさび緊結式足場の部材及び附属金具」の部材を使用して組立てられた本足場は、部材性能を考慮し、高さ45mまでを組立て限度とした。しかし、くさび緊結式足場の場合は安全衛生規則に定める単管足場として取り扱われるため、本基準では足場の高さについては、労働安全衛生規則に従って緊結部付支柱の最高部から測って31mを超える部分は原則として2本組とすることが必要となる。

ただし、平成27年7月1日施行の安全衛生規則一部改正(第571条第1項第3号)により、建地の下端に作用する設計荷重が当該建地の最大使用荷重を超えない場合は31mを超える場合であっても建地の2本組を行わないことが可能となった。

本基準もこれに従い使用することとするが、最大使用荷重に関しては各メーカーの提示するデータによることが必要となる。

よくある質問

31mを超える部分を2本組みに補強するのにどれだけ費用がかかりますか？

人工代の削減、部材代の削減、工期の削減等色々お考えですよ。

提案…強度計算書を提出した方がコスト削減出来る場合もあります。

証明できれば2本組みを行わなくてもよくなりました。詳しくは下記資料

図面作成もご相談下さい



参考②…強度計算書

項目	内容	単位	値
1. 鋼材の許容応力度 (引張り)	275 N/mm ²	N/mm ²	275
2. 鋼材の許容応力度 (圧縮)	235 N/mm ²	N/mm ²	235
3. 鋼材の許容せん断応力度	165 N/mm ²	N/mm ²	165
4. 鋼材の許容曲げ応力度	165 N/mm ²	N/mm ²	165
5. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
6. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
7. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
8. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
9. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
10. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165

項目	内容	単位	値
1. 鋼材の許容応力度 (引張り)	275 N/mm ²	N/mm ²	275
2. 鋼材の許容応力度 (圧縮)	235 N/mm ²	N/mm ²	235
3. 鋼材の許容せん断応力度	165 N/mm ²	N/mm ²	165
4. 鋼材の許容曲げ応力度	165 N/mm ²	N/mm ²	165
5. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
6. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
7. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
8. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
9. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
10. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165

項目	内容	単位	値
1. 鋼材の許容応力度 (引張り)	275 N/mm ²	N/mm ²	275
2. 鋼材の許容応力度 (圧縮)	235 N/mm ²	N/mm ²	235
3. 鋼材の許容せん断応力度	165 N/mm ²	N/mm ²	165
4. 鋼材の許容曲げ応力度	165 N/mm ²	N/mm ²	165
5. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
6. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
7. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
8. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
9. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165
10. 鋼材の許容せん断応力度 (溶接)	165 N/mm ²	N/mm ²	165

補足 足場の高さについて

足場の高さは作業床が足場の最上層に設置されている場合は基底部から最上層の作業床までの高さをいう。

作業床が足場の最上層に設置されていない場合は、単管足場等緊結部付支柱式の足場では、最上部の水平材(布材等の主要部材)までの高さとしてされている。

安全作業をお願いいたします。